

県本部第106回中央委員会

日時：2023年7月20日(木)10:00～

会場：福島市

とうほう・みんなの文化センター

# 自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:syokichou@jichiro-fukushima.or.jp

第840号

2023年(令和5年)

6月30日

福島市荒町1-21

自治労福島県本部

発行人澤村英行

## がんばろう福島



# 室井照平予定候補を推薦決定



## 迫る会津若松市長選、 この間の関係性を評価

今年、統一自治体選挙のため、県内では1年間を通じ各地で首長選挙や地方議会議員選挙が実施される。会津若松市長選について、7月23日に告示日が迫る中、自治労福島県本部は6月20日開催の第9回中央執行委員会で、現職・室井照平予定候補の推薦を決定した。これは、会津若松市職労や会津総支部が先に室井照平予定候補の推薦を決定し、県本部に支援を要請したことを受け、執行委員会で協議し決定した。当該労使関係を有する会津若松市職労との良好な関係性を評価し、判断した。

### 室井 照平 経歴

昭和30年 9月28日  
会津若松市に生まれる  
昭和43年 市立謹教小学校卒業  
昭和46年 市立第三中学校卒業

昭和49年 県立会津高等学校卒業  
(高26回卒)  
昭和53年 東北大学経済学部卒業  
～北海道拓殖銀行入行  
昭和55年 帰郷 家業(室井商店)を継ぐ  
平成6年 (社)会津青年会議所 理事長

平成11年 会津若松市議会議員 初当選  
平成12年 富山国体出場(テニス競技)  
平成18年 福島県議会議員 初当選  
平成23年 会津若松市長就任  
平成27年 会津若松市長(2期目)  
令和元年 会津若松市長(3期目)

6月9日、会津若松市議選勝利！県南総支部総決起集会。須賀川市議選勝利！県南総支部総決起集会。管内の組合員63名が参加した。県本部は須賀川市議選・深谷政憲組織内予定候補の推薦を決定し、須賀川市職労・県南総支部が取り組みを進めているが、本集会是管内総支部単組・組合員のたたく意思の結果を図ることを目的に開催したもの。開催に際し小針信之総支部長は「自治体一協力議員の県本部方針の具現化をめざそう」と参加者に呼びかけた。また、県内から自治体議員連合の仲間として、紺野長人、県議、渡邊實、石川町議、上壁充、いわき市議が応援に駆け付けた。自治体議員連合代表でもある紺野県議は「公務員の賃金は常に政争の具にされている。議会の場でも声をあげていかなければならない」と、公務労働者を取り巻く厳しい情勢認識を述べた。そして、須賀川市職労・島田浩光執行委員長からの単組決意表明の後、深谷政憲予定候補

### 県南総支部総決起集会レポート 深谷政憲予定候補が決意を語る



高梨 浩 予定候補

会津若松市議選は、高梨 浩 予定候補。7月23日告示、7月30日投票で行われる会津若松市長選と同日程で、会津若松市議選が行われる。こちらについて県本部はすでに高梨浩予定候補の推薦を決定している。高梨浩予定候補は、会津若松市職労組織内市議で、現在二期目。



深谷 政憲 予定候補

が登壇。この間の活動について報告するとともに、市政の課題についても提起。最後に、自らの決意を力強く訴えた。「働く者が労使交渉で賃金改善を勝ち取ったとしても、それを上回る物価高や増税などがあれば、可処分所得はマイナスとなってしまう。まして、公務労働者の賃金・労働条件は政治の影響を大きく受ける。働く者が声をあげていくことは極めて重要だ」と語った。また、学習会ではコンプライアンス上、私たちが取り組めることも説明した。

### 政治学習会も開催

総決起集会に先立ち、鈴木茂県本部書記長が「労働組合と政治」と題



総決起集会には大勢の仲間が参加





～私の名刺②～  
自治労働福島県本部書記長  
鈴木 茂  
(福島市職労)

「私の憧れの人」

「プロレスが好きなんですってね」。そのように声をかけて頂くことが度々ある。そう、労働界でも私はプロレス好きで知られているようなのだ。しかし、私がプロレスを見ていたのは遠い昔の話。熱が冷めてしまったのは、私の中のスター「ショウヘイ」が亡くなってしまったからだろう。アメリカでも活躍した「ショウヘイ」。「大谷翔平」ではなく「馬場正平」。そう、ジャイアント馬場である。ジャイアント馬場のファンは、敬意と親しみを込めて彼を「馬場さん」と呼ぶ。私が子どもの頃の馬場さんは、すでに峠を過ぎていて、いつもアントニオ猪木の挑発を受けていた。当時の日本のプロレスファンは馬場派と猪木派に分かれ、どちらが強いのか、いつも言い争いになった。結局、二人は各々の団体のトップになってからは一度も交わることがなかった。未だにプロレスファンはどちらが強かったかに思いを馳せる。これこそ男のロマンだ。今考えれば、どちらが強いのかなんてどうでもよいことだ。だって、プロレスは5秒以内の反則がOKなのだ。ブッチャーがフォークで突き刺そうとも、プロディがチェーンで首を絞めようとも、5秒以内なら許される。強さなんてどうでもいいプロスポーツなのだ。むしろ、試合を裁くレフェリーは見えて見ないふりをするくらいの方が評価されるのだ。今でもYouTubeで昭和プロレスを見ると、童心に帰る。あのいい加減さが私にとっての癒しだ。

猪木氏が昨年亡くなった。実は仲の良かった馬場さんと、天国で思い出話を花を咲かせてほしいなとファンとしては願うばかりである。



雨の中の開会式・初日は中止に

6月14日～15日にかけて開催予定だった全日本自治体職員スポーツ大会(軟式野球)福島県大会は、荒天により14日が中止となったため、15日のみ開催となった。結果、4強が出そろい、準決勝以降は日程・会場ともに、現在調整中である。準決勝に進出したチームについて触れていきたい。

二本松市職労は富岡町職労、玉川村職労を退け、準決勝進出を果たした。会津美里町職労は相馬市職労を破り、昨年優勝チームのいわき市職連合は、南会津町職労を破り4強入りした。福島市職労は浪江町職労に勝利し、準決勝に駒を進めた。結果、準決勝は二本松市職労と会津美里町職労、いわき職連合と福島市職労の対戦となり、決勝戦は東北地連スポーツ



好プレー続出も準決勝以降は延期

大会の出場権を駆け争うことになる。荒天の中、大会運営に従事いただいた浜総支部の皆さんに改めて感謝を申し上げる。

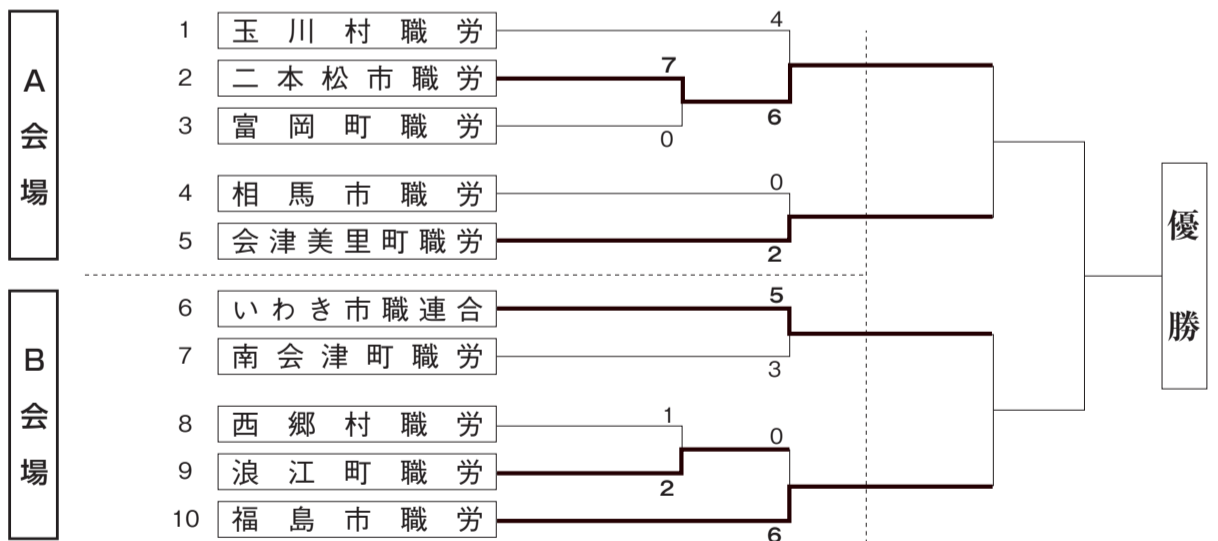
お詫び

5月31日発行第839号の予選大会結果でスコアの誤りがありました。下記のとおり訂正いたします。

正)	玉川村職労 VS 棚倉町職労	6	1
誤)	玉川村職労 VS 棚倉町職労	6	0

第42回全日本自治体職員スポーツ大会(軟式野球)福島県大会 [対戦表]

A会場 = 南相馬市「みちのく鹿島球場」  
B会場 = 南相馬市「まるさんあったまるスタジアム」



※準決勝以降は日程調整中。

会計年度任用職員の処遇改善を!

地方自治法の一部を改正する法律が5月8日に公布された。2024年4月1日施行のこの改正により、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となる。また、法案可決に際しての附帯決議には、適切な給与決定に向けた助言、必要となる財源の確保等について盛り込まれた。このことを受け、自治労本部は2024地財計画への確実な計上を求め、総務省・国会対策に取り組みとしている。

県本部は6月21日開催の単組代表者会議で、会計年度任用職員の処遇改善の取り組みについて提起。来年4月からの実施に向け、すべての自治体単組で2023年12月議会までに確実な条例化を求めることとした。また、当事者たる会計年度任用職員の運動への参画は必須とし、組織化の取り組みも推進するとしていた。

不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

くみん共済 NEWS 5121V355

総合共済

団体生命共済

長期共済

税制適格年金

住まいる共済

マイカー共済

くみん共済 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会  
自治労共済 推進本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

契約にあたってはパンフレットをご覧ください。  
「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

「じちろうの共済」は人生のさまざまな出来事にしっかり備えたい、そんなあなたのための共済です